

社会資本総合整備計画書

きた さきもりおおみなと
北の防人大湊地区都市再生整備計画

あおもりけん
(青森県 しむつ市)

平成26年 2月

都市再生整備計画(第2回変更)

きた さきもりおおみなと
北の防人大湊地区

あおもりけん
青森県 しむつ市

平成26年 2月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	青森県	市町村名	むつ市	地区名	北の防人大湊地区	面積	510 ha
計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度				

目標

大目標: 地域住民や観光客のコミュニケーション・交流人口の拡大

目標1 国の重要文化財「旧大湊水源池水道施設」や石造りの「旧大湊高校女子寮」「市文化財収蔵庫」や「北洋館(海上自衛隊施設)」などの施設を活かした街並み景観づくり、歴史を感じる観光・交流づくりを行うことにより、市民や観光客が憩える場を創出します。

目標2 高齢者、障がい者、市民、観光客、だれもが訪れたいくなる環境を創出します。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・むつ市は、本州最北端の下北半島の中央に位置し、下北地域の行政、経済、教育などの中心的な役割を担っています。
- ・平成17年には、旧むつ市、川内町、大畑町、脇野沢村が合併し、新「むつ市」としてスタートを切っています。
- ・旧むつ市は、旧来から下北地方の政治、経済、交通の中心地として成長してきた旧田名部町と、海軍水雷団が設置され、戦後の軍解体を経て自衛隊の基地として発展を遂げた旧大湊町が昭和34年に「大湊田名部市」として合併し、翌年昭和35年に全国初のひらがなの市「むつ市」となったものです。
- ・都市再生整備計画区域として設定される本区域のほとんどが、その旧大湊町を構成していた区域となっています。
- ・旧大湊町は、明治35年の旧海軍の大湊水雷団の開庁以来、急速に変遷、発展を遂げ、昭和3年には大湊村から町制へと施行したものでありますが、戦後、軍の解体により人口は半減、苦しい復興期を迎えたところです。そのような経緯からも旧海軍との結びつきが強く、明治時代からの旧海軍施設が、昭和52年に都市計画決定された水源池公園や海上自衛隊大湊地方隊の周辺に当時の面影を残したまま数多く点在しています。
- ・さらに、平成21年12月には、旧海軍施設として利用されていた、「旧大湊水源池水道施設」が国の重要文化財に指定されました。
- ・以上のような経緯を踏まえ、市民協働のまちづくりとして平成22年7月から(仮称)水源池公園周辺整備構想づくりワークショップ(後に北の防人大湊づくりワークショップ)を開催し、市民・観光客がいかんして憩えるのか、また、都市再生整備計画(案)を検討しながら、今後のまちづくりの方向性を指す「北の防人大湊づくり構想書」を策定したところです。また、都市再生整備計画(案)を広く市民に公表し、意見募集を図り改良を重ね、整備計画を策定しました。

課題

・都市計画公園である水源池公園の公園施設は完成からかなりの年月が経っているために、魅力が失われている状態であり、園路や駐車場等がバリアフリー化されておらず、また、水源池公園を含む周辺では売店や軽食機能などの便益施設の未整備など市民・観光客などの受け皿機能が低下している状態となっています。また、観光資源として活用が可能な明治時代からの旧海軍官舎等の施設が点在していますが、市民・観光客の受入れ施設としての活用がすぐには難しい状態です。以上のことから、これほどの観光資源が集約され景観も活かせるゾーンを、いかに活かして市民・観光客にとっての憩いの交流ゾーンとして機能させ、交流人口を拡大させるかが課題とされています。

将来ビジョン(中長期)

「むつ市長期総合計画」(地方自治法第2条第4項)

・地域の個性を活かした特色のあるまちづくりを基本方針の一つに掲げ、その中で観光の振興を施策として位置づけ、産業、生活文化の資源発掘を主要な計画としています。

むつ市都市計画マスタープラン

・全体構想の一つとして地域の特性を生かした観光交流施設、情報発信機能の拠点施設となる観光施設等の設置を検討することとされています。また、地域別構想として、水源池公園は市民の交流、憩いの場として維持・保全を図ることとされています。

目標を定量化する指標

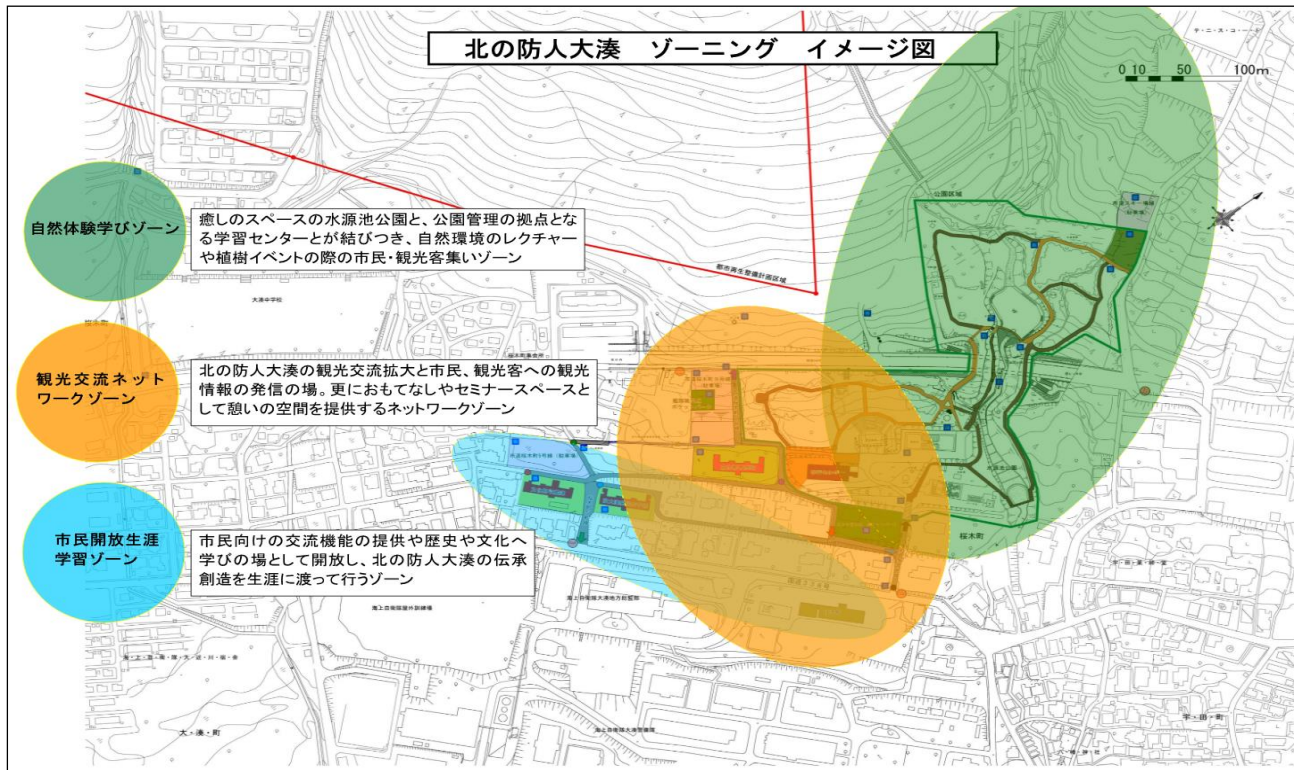
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
					基準年度	目標年度
北洋館入場者数	人/年	旧海軍時代からの歴史記念館である海上自衛隊施設「北洋館」における年間の入場者数	景観づくりや観光・交流ゾーンとして施設整備・改修に伴い、回避性が高められることにより北洋館へも入込者数の増加を見込みます。	5,577	H21	H27
認識度調査アンケート	%	施設案内の充実等に伴いどれが国指定重要文化財施設かの認識度	建物改修や案内サイン等の整備及びパンフレット等の活用により、どれが国指定重要文化財かの周知度の向上を図り、北の防人大湊としての歴史を感じる観光・交流が拡大しているのか、認識度調査をおこなって検証します。	19.2	H22	H27
イベント回数	回/年	既存イベントであるむつ桜まつり及び海軍まつり以外の年間のイベント回数	観光・交流づくりとして整備・改修工事と比例するように、イベントの開催機運が高まり、さらなるコミュニケーション・交流人口が拡大することとします。	3	H22	H27

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>国指定重要文化財「旧大湊水源地水道施設」や都市公園「水源池公園」、海上自衛隊大湊基地及び「北洋館」、明治時代からの石造り旧海軍士官官舎「市文化財収蔵庫」「旧大湊高校女子寮」などの周辺一帯を「自然体験学びゾーン」「観光交流ネットワークゾーン」「市民開放生涯学習ゾーン」とする三つのゾーニングに合わせた新観光地へと、既存ストックを再生、利活用を図りながら、また、それらの中央に新たな観光交流の拠点施設を配置し、回遊性を持たせ、憩いのゾーンを創出し、市民・観光客の交流拡大を目指します。</p>	<p>・道路改修(景観づくり、基幹事業)、駐車場整備(基幹事業)・公園施設改修(基幹事業:バリアフリー化、公園管理棟への改修)・地域生活基盤施設(基幹事業:観光地エントランス、大湊基地展望台創出)、高次都市施設(基幹事業:観光案内所)、既存建造物活用事業(基幹事業:旧女子寮・収蔵庫・学習センターのリノベーション)</p>
<p>・平成21年12月に国の重要文化財に指定された旧大湊水源地水道施設群の施設説明や各建造物の説明を推進することにより、「北の防人大湊」として、誰もが訪れ学び、機会を創出します。 ・訪れる方々へ情報を提供します。</p>	<p>・地域創造支援事業(提案事業:観光センター:食べ物) ・地域生活基盤施設(基幹事業:情報板、観光案内標識) ・地域創造支援事業(提案事業:統一デザイン案内サイン)</p>
<p>・創出後の魅力ある景観づくりを継続させるため、景観づくりのルールを策定します。</p>	<p>・まちづくり活動推進事業(提案事業:景観ルール策定ワークショップ)</p>

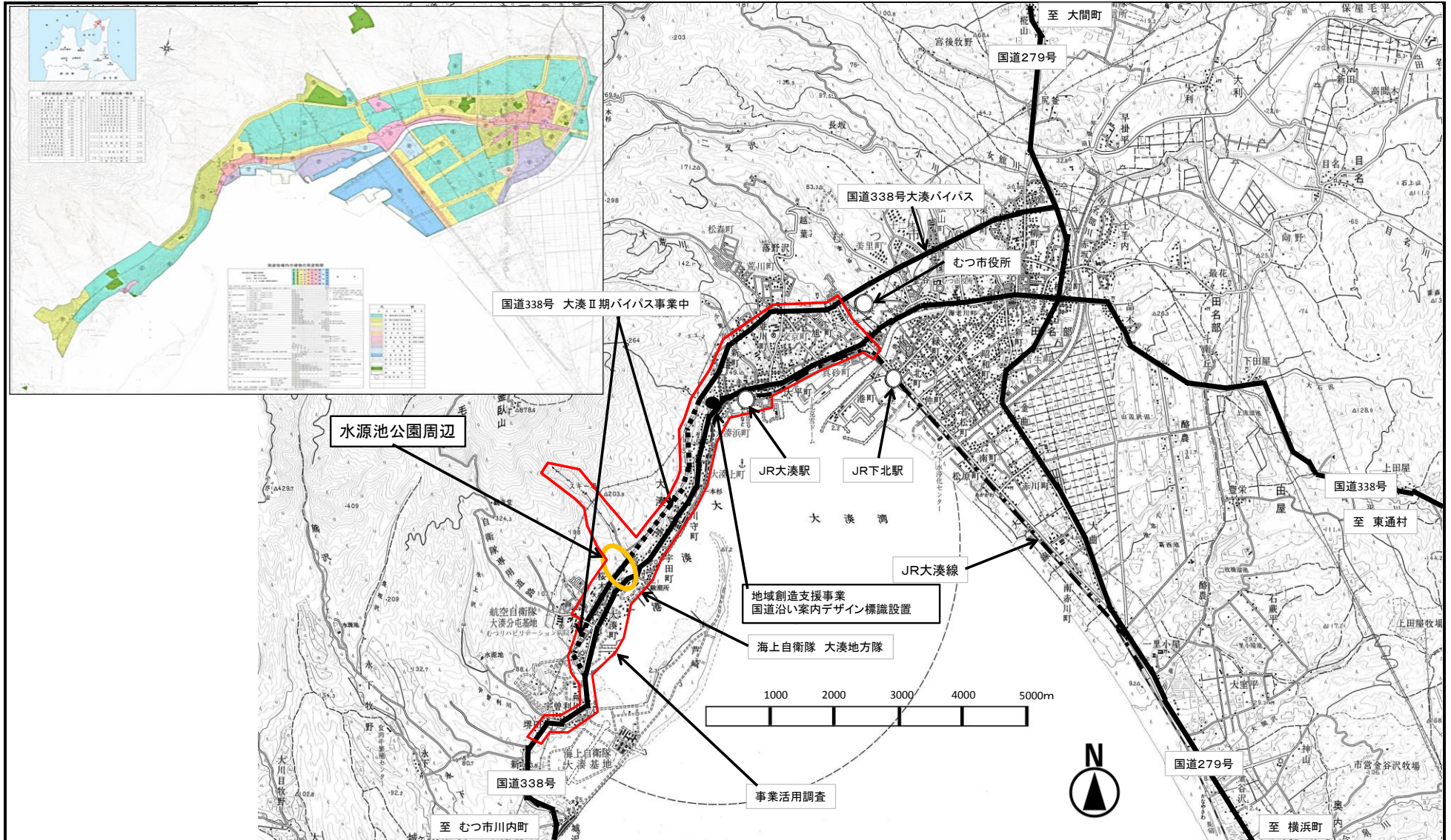
その他

- ・「北の防人大湊づくりワークショップ」参加者、市民意見による、持続したまちづくりを目指します。
- ・水源池公園周辺の整備のゾーニングは下図のとおりです。



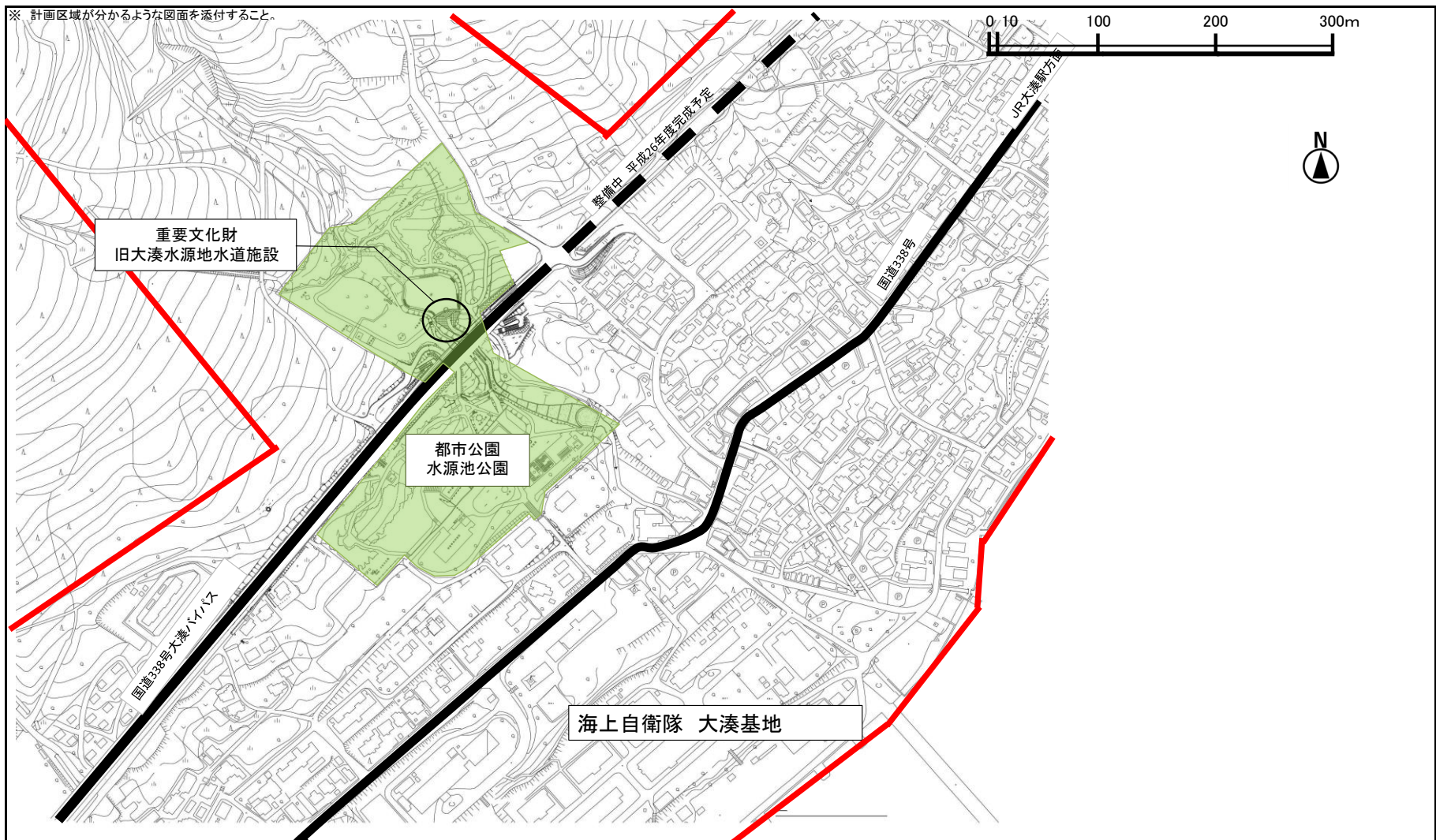
都市再生整備計画の区域

<p>北の防人大湊地区(青森県むつ市)</p>	<p>面積 510 ha</p>	<p>区域 大湊町、川守町の全部及び大字大湊、大字城ヶ沢、桜木町、宇田町、大湊上町、大湊浜町、大湊新町、大平町、旭町、並川町、文京町、山田町、中央二丁目の一部</p>
-------------------------	------------------	---



都市再生整備計画の区域

<p>北の防人大湊地区(青森県むつ市)</p>	<p>面積 510 ha</p>	<p>区域 大湊町、川守町の全部及び大字大湊、大字城ヶ沢、桜木町、宇田町、大湊上町、大湊浜町、大湊新町、大平町、旭町、並川町、文京町、山田町、中央二丁目の一部</p>
-------------------------	----------------------	---



北の防人大湊地区(青森県むつ市) 整備方針概要図

目標	重要文化財(旧大湊水源池水道施設)や既存ストックを活用し、新たな観光ゾーンとして水源池公園及びその周辺の市街地を景観に配慮しながら整備改善し機能の強化を図り、市民・観光交流を拡大推進させる。	代表的な指標	北洋館入場者数 (人/年)	5,577 (H21年度)	→	10,400 (H27年度)
			重要文化財正解率 (%)	19.2 (H22年度)	→	75 (H27年度)
			イベント回数 (回/年)	3 (H22年度)	→	7 (H27年度)

